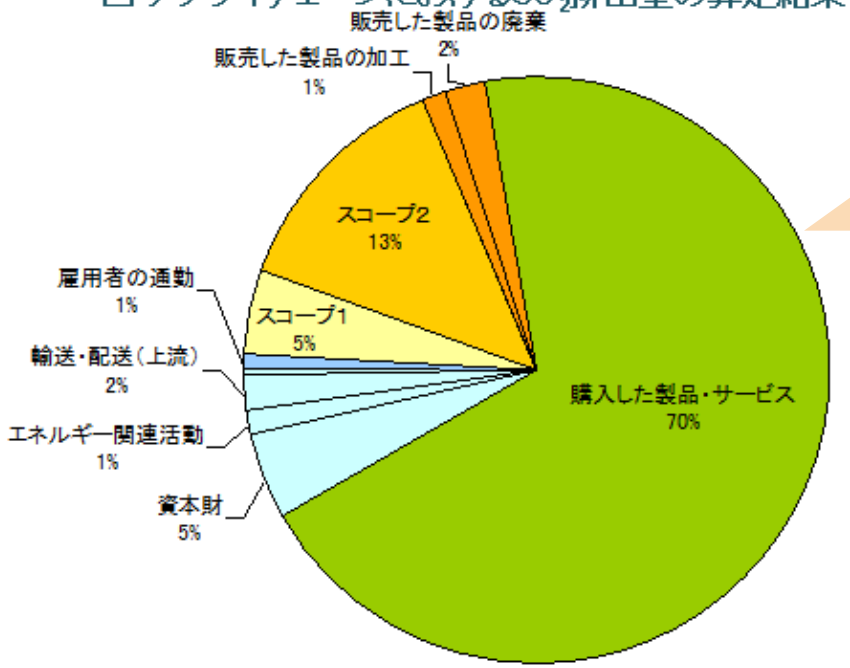
1 YKK AP株式会社

	各社の考え方
□算定を行う背景・目的	● 地球環境負荷低減のために、企業活動全体のCO_2排出量の把握が重要である。 ● 年々、社会的に環境負荷情報の開示要求は高まっている。そのため、環境負荷情報の開示を積極的に行なう必要がある。
□算定結果の活用方法	● カテゴリー別に優先順位を付け、CO_2排出量の削減に取り組む。 ● 当社の環境に対する取り組み姿勢を明らかにし、お客様の信頼と理解を獲得する。
□算定のメリット	● サプライチェーン全体での排出量が明確になり、効果的な対策ができる。 ● 排出量の透明性が高まり、お客様の情報開示要求にも対応可能である。
□社内の算定体制	● 調達、物流、経理部門からデータを収集し、環境部門で算定する。 ● 社内データベースを活用し、作業効率化を図っている。

□サプライチェーンにおけるCO_2排出量の算定結果



□主に購入した製品（原材料）

アルミ地金　アルミスクラップ　木質原材料　プラスチック類

［用語解説］

アルミ地金・・・・・・・ アルミニウムはボーキサイトとよばれる鉱石が原料。 このボーキサイトからアルミナ（酸化アルミニウム）をつくり、電気分解してアルミニウムを取り出す（精錬）。地金（インゴット）は、アルミニウムを鋳型で固めたもの。

アルミスクラップ・・・・ 廃サッシ・アルミホイールなどが原料。ボーキサイトからの精錬に比べて電力消費量が少なく、環境への負担を抑えることができる。

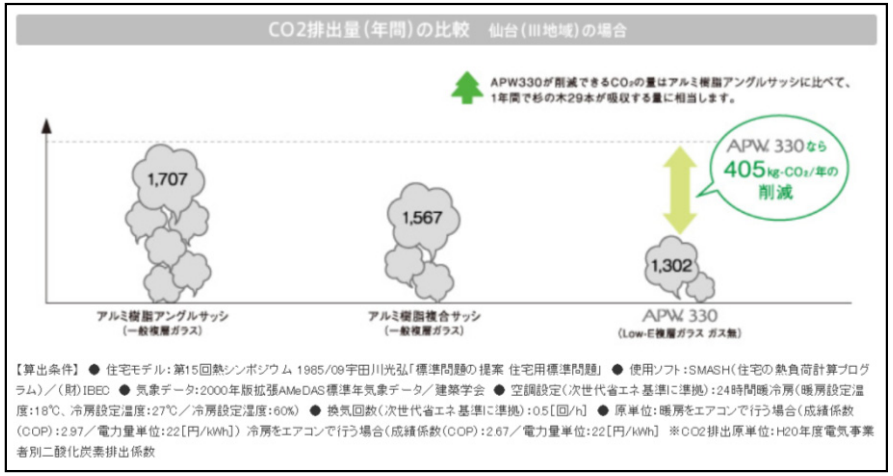
プラスチック類・・・・・ サッシで使用する主なプラスチック類（樹脂）は塩化ビニル樹脂。

:http://www.ykkap.co.jp/company/japanese/environment/report2013/ecology/ecology04.asp

YKK AP株式会社 2

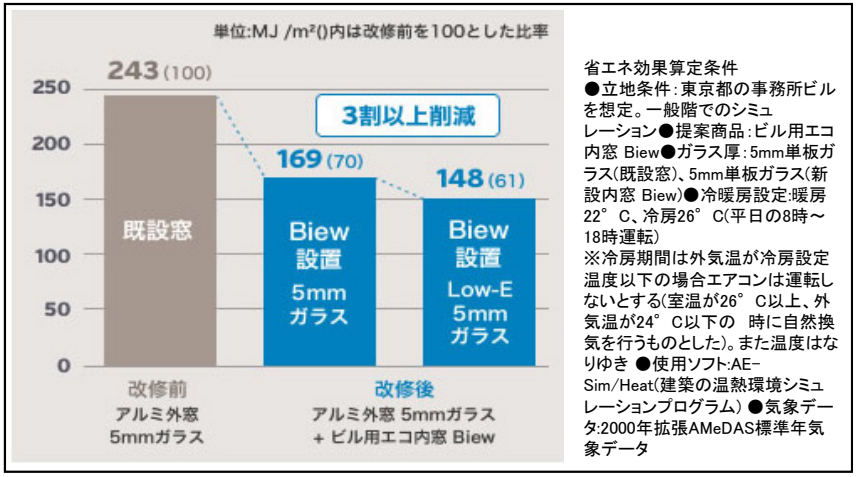
	各社の考え方
□サプライチェーン排出量の削減に向けて	● 原材料がサプライチェーン全体のCO_2排出量の約7割を占めるため、CO_2排出量が多い原材料からCO_2排出量が少ない原材料への変更を積極的に推進する。 ● 物流では、適切な配車と積載率の向上ならびにモーダルシフトに取り組む。 ● グリーン調達、廃棄物の再資源化に取り組む。 ● 当社製品自体がCO_2を排出することはないが、逆に当社製品をお客様に使用して頂くことで戸建住宅やビルのCO_2排出量の削減、エネルギーの削減に貢献できる。
□サプライチェーン排出量算定の課題	● 原単位が金額ベースの場合、物量ではなく購入金額の変動等がCO_2排出量に影響する。 ● 国内については、原単位、CO_2排出量の精度向上 が必要である。 ● 海外へ展開する際には、活動量、原単位データの整備 が必要である。
□これからサプライチェーン排出量を算定する方へ	● まずは全体が見られるように、二次データを使って概略のCO_2排出量を把握するとよい。その上で、CO_2排出量が多いカテゴリーから精度を高めていくのが効率的である。 ● CO_2排出量がカテゴリー別に明確になるので、効果的な削減対策が行える。

□CO_2削減貢献量（戸建住宅用窓）



出典：http://www.ykkap.co.jp/apw/apw330/detail/eco.asp

□エネルギー削減貢献量（ビル用内窓）



出典：http://www.ykkap.co.jp/search-b/biew-sp/performance.asp#page02

3 YKK AP株式会社

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 購入した原材料・資材の重量	● 原単位データベース（※1 ※2 ）
カテゴリ2「資本財」	● 資本財の調達金額	● 原単位データベース（※2）
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● 電気・燃料のエネルギー使用量	● 原単位データベース（※1）
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	● 算定・報告・公表制度における特定荷主の算定方法に基づき算定	
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物種類別処理量	● 原単位データベース（※2）
カテゴリ6「出張」	● 交通費移動手段別支給額	● 原単位データベース（※2）
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 交通費移動手段別支給額	● 原単位データベース（※2）
カテゴリ9「輸送、配送（下流）」	● シナリオ設定による	● トンキロ法輸送機関別排出原単位
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● シナリオ設定による	● 自社製造加工重量あたり原単位
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 荷主分の販売物流量	● 原単位データベース（※2）

※1「カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム　基本データベースver.1.01（国内データ）」
※2「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベースVer2.0」